

秘

參一發第六十三號

大正七年十二月十二日

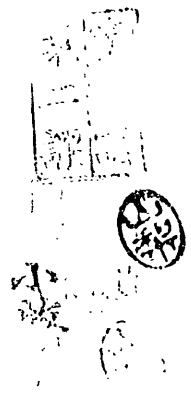
參謀總長



通

報

曩ニ歸還ヲ令セラレタル部隊ノ内第五師團長及留守第三師團長ノ隸下ニ入ルヘキ部隊(野戰重砲兵第四聯隊同輜重隊及輜重兵第三大隊(糧食)縱列欠)竝第三師團第一第二兵站輸送縱列(八十二月十日ヲ以テ全部其編成地ニ歸著セリ)



2.12.13
官局交前

0733

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

軍務局

秘

參一發第六十四號



通報

大正七年十二月十八日

參謀總長

山砲兵第一聯隊、同輜重隊ハ十二月十六日其編成地ニ
歸著セリ曩ニ歸還ヲ令セラレタル部隊ノ輸送ハ茲ニ全
ク終了ス



0734

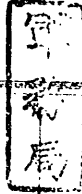
編第十六號

留守第三師團之於軍樂隊一箇ノ編成ヲ令セラル編成
第一日ハ十二月二十一日ナリ

大正七年十二月二十日午後二時

陸軍大臣 田中義一

海軍大臣 加藤友三郎 殿



陸

軍

0735

軍務局

兵

後第二師

第三師管兵站基地司令部第十二師管兵站基地司令部

第十二師團補充馬廠ノ復員ヲ令セラル

大正七年十二月二十五日午後三時



陸軍大臣 田中義一

海軍大臣 加藤友三郎 殿



陸軍



7.12.25

0736

其

參一發第六十五號

大正七年十二月二十七日

參謀總長

秘

通

報

小林

岡田

前田

岡田

7.12.28

大

名古屋

十二月十一日第二軍樂隊ヲ後貝加爾州ニ派遣シ夕刻到着時ヨリ第一師團長、隸下ニ入ラシムル如ク發令セラル該隊ハ同月二十六日暮編成地

軍務局

十二月二十五日露路領及北滿洲方面派遣部隊中左記部隊ヲ内地ニ歸還セシメ又第三師團戰列部隊中豫後備役人員及行李ノ大部ヲ還送シ部隊ノ整理ヲ行ハキ旨發令セラレタリ

豫定ナリ

左記

第三師團衛生隊

0737

第十二師團衛生隊
第三師團第一糧食縱列
關東豫備馬廠
患者輸送部第七班
患者輸送部第二十三班
第四師團第一第二建築輸卒隊
第十師團第一建築輸卒隊
第二師團第二第三陸上輸卒隊
第十師團第七陸上輸卒隊
關東野戰建築部
第一野戰建築部

案

復第三號

左記部隊ノ復員ヲ令セラル概ネ二月上旬ヨリ二月下旬ニ亘ル間ニ於

テ復員スル豫定ナリ

第三師團第一糧食縱列

第三師團衛生隊

第十二師團衛生隊

關東豫備馬廠

患者輸送部第七第二十三班

第四師團第一第二建築輸卒隊

第十師團第一建築輸卒隊

第二師團第二第三陸上輸卒隊

第十師團第七陸上輸卒隊

關東野戰建築部

務局

本

G739

第一野戰建築部

大正八年一月十四日午前十一時

陸軍大臣 田中義一

海軍大臣 加藤友三郎 殿

0740



參一發第六十六辨

大正八年二月三日



通報

參謀總長



一月三十日露領及北滿洲方面派遣部隊中左記部隊ヲ内地ニ歸還セシムヘキ旨發令セラレタリ

該部隊ノ歸還輸送ハ二月中旬ヨリ同下旬ニ互リ實施セラレル豫定ナリ

左記

- 山砲兵獨立大隊
- 山砲兵獨立中隊
- 野戰重砲兵獨立大隊
- 第一航空隊



0741

航 空 廠
第一、第二新山採集部
第七、第八糧秣蒐集部
第三師團第一至第四輜重監視隊
第十二師團第一至第四輜重監視隊
第二師團第一、第二陸上輸卒隊
第十師團第一、第二陸上輸卒隊
第一 白 動 車 隊

0742

~~供~~

復第四號

左記部隊ノ復員ヲ令セラル概ネ二月下旬ヨリ三月上旬ニ亘ル間ニ於テ復員スル豫定ナリ

山砲兵独立大隊

山砲兵独立中隊

野戰重砲兵独立大隊

第一航空隊

第三師團第一乃至第四輜重監視隊

第十二師團第一乃至第四輜重監視隊

航空廠

第一第二薪炭採集部

第七第八糧秣蒐集部

第二師團第四第五陸上輸卒隊

軍務局

事件ニ付テハ
本部ニ達スル



8. 2. 18

0743

第十師團第八第九第十陸上輸卒隊
第一自動車隊

大正八年二月十七日午後一時

陸軍大臣 田中義一

海軍大臣 加藤友三郎 啟

0744

軍務局

供覽

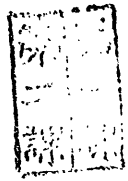
參一發第六十七號

通報

大正八年二月十九日

參謀總長

二月初旬以來黑龍州方面ニ於ケル我軍事行動ノ概況
別紙ノ如シ



8. 2. 21
官印受領

軍務局印
8. 2. 24

0745

「ブレーヤ」河下流地方過激派討伐、情況

黒龍州方面ニ於ケル我第十二師團ノ諸隊ハ二月十二日以降
邦寒ヲ冒シ險惡ナル山路ヲ踏破シテ「ブレーヤ」河下流地
方ニ於ケル過激派ノ掃蕩ニ努メツツアリ其概況次、如シ
二月上旬ヨリ十二日ニ至ル間ノ情況

第十二師團高橋支隊ハ二月上旬以來「ザウイタヤ」附近ニ於
テ過激派蜂起シ且鐵道術工物ノ破壊ヲ企テツツアルノ
報ニ接シ十一日歩兵大尉米谷三雄ノ指揮スル下士以下約
六十機關銃一小隊救護班及露國民兵若干ヨリ成ル偵
察隊ヲ派遣セリ

該偵察隊ハ十二日午後一時「デシヤノワカ」附近ニ於テ約四
百ノ過激派軍ト衝突シ奮戰敵ノ第一線タル高地ヲ奪
取セシモ其後方地區ニ於テ更ニ頑強ナル抵抗ヲ受ケ

未夕之ヲ擊攘スルニ至ラスシテ日没ニ至レリ

右ノ戦闘ニ於テ米谷大尉及機關銃隊長大尉高野^{ススム}年

眞傷シ下士卒中戦死三眞傷九ヲ出セリ敵ノ遺棄セル

死者四十ヲ算ス

高橋支隊ハ更ニ歩兵大尉末松三郎ノ指揮スル歩兵一

中隊(一小隊欠)ヲ米谷偵察隊ニ増援セリ

第十二師團長ハ高橋支隊増援ヲ爲騎兵一中隊、師團電話

隊ノ一部及患者收容班ノ派遣ヲ令シ此日夕「ハバロフス」

ヲ出發セシメタリ

在「ゴブラゴエシナエンスク」山田少將(四郎)ハ高橋支隊ノ討伐隊ニ

協力セシムル爲歩兵約百、騎兵約二十、機關銃一、砲二門ヲ歩

兵少佐堀八郎ノ指揮ニ屬シ^{堀支隊ト編入ス}正午同地ヲ出發「ザウ

イタヤ」河谷ニ向ヒ急行セシメタリ

二月十三日ノ情況

末松中隊ハ「インノケンチフスカヤ」ヲ占領セル兵力數倍ノ敵ヲ攻撃シテ同地ヲ奪取シ銃器彈藥若干ヲ鹵獲セリ我軍ニ損害ナシ

米谷偵察隊ハ此日末松中隊ニ合シ又堀支隊ハ午後二時「イリンスカヤ」ニ達シ大ナル抵抗ヲ受クルコトナク同地ヲ占領セリ

二月十四日ノ情況

高橋支隊長ハ此日「インノケンチフスカヤ」ニ移リ米谷、末松兩隊ノ直接指揮ヲ執レリ

堀支隊ハ此日前進ヲ續行セルモ未ダ高橋支隊ト連絡スルニ至ラス

二月十五日ノ情況

0748

堀支隊ハ午後一時過「クチロオ」(「ミハイロフスカヤ」北方六里)附近ノ敵ヲ撃壊シ同地ヲ占領セリ此戦闘ニ於テ騎兵少尉内田穰負傷、卒一名戦死ス敵ノ死傷約五十ヲ算ス

二月十六日ノ情況

高橋、堀兩支隊ハ各當面ノ敵ヲ追撃シツツ「ザウイシヤ」河谷ニ向ヒ前進ヲ續行ス

第十二師團長ハ前記各討伐隊ノ協同動作ヲ円滑ナラシメシカ爲步兵第十四聯隊長大佐高橋直武ニ對シ爾後高橋、堀兩支隊ヲ併セ指揮シ速ニ掃蕩ノ目的ヲ達スヘク訓令セリ

二月十七日ノ情況

堀支隊ハ此日「アンドレツカ」(「イウノフスカヤ」東方約四里)

0749

附近ニ達シ同地ヲ占領セル約五百ノ敵ト衝突シテ
 斷然攻撃ヲ取リ激戰約二時間ノ後遂ニ之ヲ擊攘セ
 リ

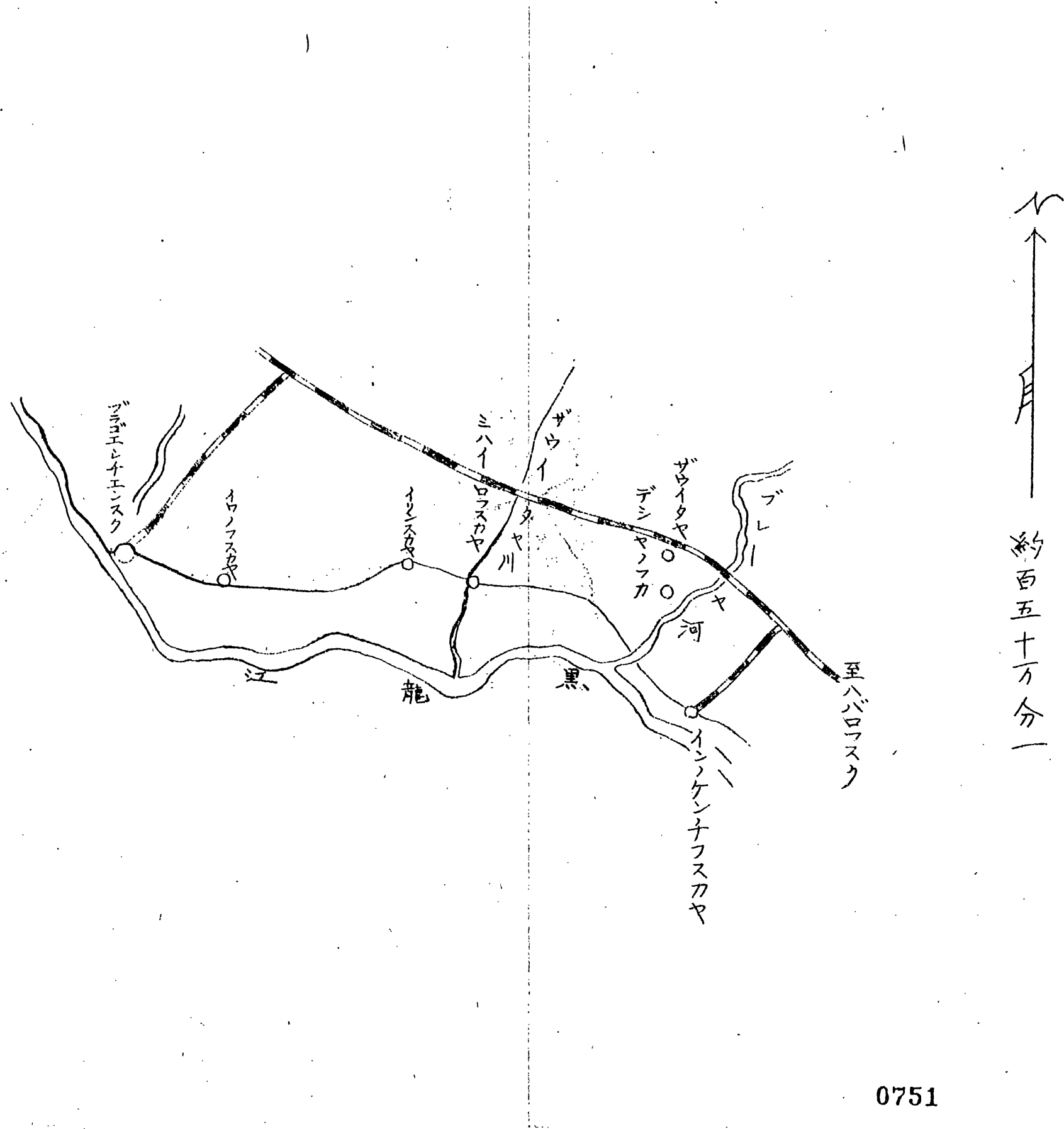
此戰鬥ニ於ケル彼我ノ損害概ネ左ノ如シ

我軍

戰死 將校二
步兵少尉 堀八郎
 下士以下十八
 負傷 將校三
步兵大尉 橋津一
步兵少尉 古谷幸一
 下士以下二十二
青柳幸太郎
相澤真造

敵軍 戰場ニ遺棄セル死者約二百

俘虜其他ヨリ得タル情報ヲ綜合スルニ豫テ同地附
 近ニ集合シツツアリシ過激派軍ノ兵力ハ五六千ニ
 達シ強制的ニ地方青年ヲ徵集シテ兵員ヲ増加シ
 「アラゴエシテエンスク」ノ進襲ヲ企圖シアリタルモノノ如
 シ



0751

復第五號

第二師團第一陸上輸卒隊ノ復員ヲ令セラル二月下旬ニ
於テ復員スル豫定ナリ

大正八年二月二十二日午十二時

陸軍大臣 田中 義一

海軍大臣 加藤 友三郎 殿



小坂

軍務局

供覽
万々

陸軍

8. 2. 23
陸軍大臣

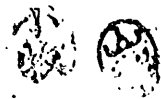
0752

軍務局



參一發第六十八號
第二航空隊ヲ内地ニ歸還セシメラル同隊ハ三月下旬編成地歸
著ノ豫定ナリ

大正八年二月二十五日
參謀總長



8. 2. 27
官房受領

0753

參一發第六十九號

通報

大正八年二月二十五日
參謀總長

一、曩ニ作命第參拾壹號ヲ以テ歸還ヲ命セラレタル左記諸隊ハ
二月二十四日ヲ以テ全部其編成地ニ歸著セリ

第三師團衛生隊

第十二師團衛生隊

第三師團第一糧食縱列

關東豫備馬廠

患者輸送部第七班

患者輸送部第二十三班

第四師團第一、第二建築輸卒隊

第十師團第一建築輸卒隊

0754

第二師團第二第三陸上輸卒隊

第十師團第七陸上輸卒隊

關東野戰建築部

第一野戰建築部

ニ從來宇品ニ於テ服務セル第二師團第一陸上輸卒隊ハ二月二十一日ヲ
以テ第二師團長ノ隸下ニ復歸シ其編成地ニ歸還セルヲレタリ

0755

軍務局

供覽



參一發第七十號

二月中旬以來黑龍州方面、情況別紙、如シ

通報

大正八年三月四日

參謀總長



小松



8. 3. 5
日付受領

0756

「セーヤ」河河谷ニ於ケル過激派討伐ノ情況

二月十二日以來高橋支隊及堀支隊ハ「ブラゴエシチエンスク」東
方及「ガヴィタヤ」河畔ニ於テ過激派剿滅ニ從事シ酷寒ヲ冒
シテ各地ノ過激派ヲ討伐シツツアリシカ堀支隊ハ二月
十七日「イワノフスコエ」東方「アンドレフカ」附近ニ於テ優勢ナル敵
ト激戦ヲ交ヘ之ヲ撃壊シタルモ支隊長堀少佐以下多數
ノ死傷ヲ生シ兵力寡弱トナリタルヲ以テ「ブラゴエシチエンスク」
ニ歸還ス爾後「イワノフスコエ」附近ノ過激派ノ情況ハ更ニ大
規模ノ討伐ヲ要スルニ至リタルヲ以テ「ブラゴエシチエンスク」
ニ在リシ山田支隊ハ主力ヲ以テ之カ討伐ニ從ヒ長驅「
レキセフスク」北方地區ニ追撃シテ激戦ヲ交ヘタリ其概況次
ノ如シ

二月十八日ノ情況

0757

在「ブラゴエシチェンスク」山田少將ハ同地東北方約六里「チエレムホー
フスコエ」附近ニ約三百ノ過激派集合シアルヲ知り之カ討
伐ノ爲支隊ノ一部ヲ派遣シタルモ敵既ニ退却シタル後
ナリシヲ以テ該討伐隊ハ守備地ニ歸還ス
二月十九日ノ情況
第十二師團長ハ十八日「アレキセフスク」守備隊長ヲシテ歩兵
一中隊ヲ「ブラゴエシチェンスク」ニ増援セシメタリシカ更ニ此日
在「ハバロフスク」歩兵一中隊、特種砲隊、騎兵聯隊本部（聯隊長中
佐宮内英彪）及一中隊、野砲兵大隊本部及一中隊ヲ山田支
隊ニ増援セシム
浦潮派遣軍司令官ハ其直轄タル在「ニコリスク」歩兵第七十
二聯隊ノ一中隊ヲ二十日出發「ハバロフスク」ニ派遣シ師團長
ノ隷下ニ復歸セシム

0758

二月二十日ノ情况

過激派ノ主力ハ「イワノフスコエ」「アンノフカ」間ノ地區ニ在ルカ
如キヲ以テ山田少將ハ同支隊ノ主力ヲ以テ該方面ノ討
伐ヲ爲スノ企圖ヲ有セシモ「アラゴエシチェンスク」ノ情况ハ遠ニ
守備ヲ緩スルコト能ハサルヲ以テ十九日「アラゴエシチェンスク」
附近ニ陣地ヲ占領シ在リシカ黒河守備隊主力ノ増援ヲ
得折板同地方巡視中ナリシ第十二師團兵站監ニ同地ノ
警備ヲ委ネ主力ヲ提ケ「イワノフスコエ」ニ向ヒ前進ス
高橋支隊ハ此日未明抵抗ヲ受クルコトナク「ワスチヤノオセ
ルスカヤ」ヲ占領ス

二月二十一日ノ情况

山田支隊ハ午前十時敵ノ抵抗ヲ受クルコトナク「イワノフ
カ」ヲ占領ス同村民ノ言ニ依レハ敵ハ二十日午後二時頃

ヨリ村民ノ家財ヲ奪ヒ電信機ヲ破壊シ且壯丁ヲ拉シテ
マレヅラカ(西北約六里)方向ニ退却セリト
増援隊タル宮中佐以下ハ獨斷ヲ以テ直接山田支隊ノ
攻撃ニ參與スル爲午後「スレドネーバ」ニ於テ下車シ夜半
出發先ツ「アレキセーフスク」ニ向ヒ前進ス
二月二十二日ノ情況
浦潮派遣軍司令官ハ歩兵第七十二聯隊(一大隊欠)ヲ第十
二師團長ノ隸下ニ復歸セシメ第七師團ヨリ歩兵第二十
六聯隊(一大隊欠)ヲ浦潮附近ニ招致ス
第十二師團長ハ午前五時三十分歩兵第七十二聯隊ノ二
中隊「ハバロフスク」ニ到着セシヲ以テ之ニ機關銃隊ヲ増加シ
大隊長(佐田中勝輔)ヲシテ之ヲ指揮セシメ午前十時出發
山田支隊ニ増援セシム

0760

二月二十三日ノ情況

高橋支隊ハ二十二日「ウオズネセノ」ヲ達シ二十三日「クレモ」
「フカ」^{「チエルネー」}シ「」附近ノ掃蕩ヲ行ヒ二十四日「オケカレオ」ニ向
ヒ前進ス

山田支隊ハ午前二時「ベレゾ」ヲ發シテ午前十時「コンミサ
ロ」カニ於テ宮内隊ト連絡シ同村民ノ言ヲ綜合シテ敵ノ
「ヒヤ」右岸ニ退却セシヲ知り直チニ同方面ニ轉進シ午
後六時同河ノ線ニ達シ一部ヲ以テ「クレシユケ」ニ主
カヲ以テ「スヤタイ」^{「ロカ」}ニ宿營ス

二月二十四日ノ情況

山田支隊ハ早朝出發途中「サザンカ」ニ於テ宮内隊ト會シ其
野砲兵大隊（二中隊欠）及歩兵中隊ヲ支隊ニ合シ別ニ野砲
二門機關銃ニ「宮内隊」ニ屬シ輕装シテ先ツ北方ニ向ヒ

敵ヲ追撃セシメ支隊ノ主力ハ午後五時「アレキセフス」ニ到
 著ス
 田中大隊ハ午後一時「アレキセフス」ニ到着シ一部ヲ「スラゼフ
 カ」ニ残置シ「ドブロッスキ」附近ノ復察ニ任シ主力ハ午後三
 時「アレキセフス」出發「ユフタ」ニ向ヒ前進ス高橋支隊ハ山田
 支隊長ノ區處ニ依リ神野騎兵大尉（儀三郎）ノ指揮スル
 歩兵二十騎兵四十野砲二門露國兵若干ヲ「カニナール」（ボチカレホ 昔約十里）
 及其西北方面ニ前進セシメ「セイヤ」河左岸ヲ退却スル敵
 ノ背後ニ向ヒ且ツ「マザノ」守備隊ト連絡セシメ其他ノ主
 カヲ以テ「アレキセフス」ニ向ヒ前進ス
 「アレキセフス」「ウシユムン」間ノ地區ノ守備ニ任シアル丸野支
 隊ハ敵兵守備區域内ニ進入シ且ツ「ゴングツ」附近不穩ノ
 情況ニ在ルヲ知り在「ウシユムン」清水歩兵大尉ニ歩兵一小

隊、特種砲一門、鐵道兵若干ヲ指揮セシメ、ゴンダックニ急行
 シ、同地守備隊ニ増援セシム
 二月二十五日ノ情況
 敵ノ主力カハ「アレキセフス」西方地區ヲ經テ北方ニ退却シ、
 クラムレフスコエ（「ユラタ」西方四里）ニハ數百ノ敵アリ、其他「トブロス
 」「及「ゴンダック」「シチヤナヤ」間等ニハ數ノ敵アルカ如シ
 宮村隊ハ午前十一時三十分「シチヤナヤ」ニ達セシカ、其北方
 ニ於テ鐵道ノ破壞セラレアルト敵兵四五百アルヲ知リ
 午後一時此敵ヲ攻撃シ之ヲ撃退シタル後「シチヤナヤ」ニ宿
 營シ鐵道ノ開通ヲ待ツ
 丸野支隊ハ昨二十四日清水歩兵大尉ヲ指揮スル部隊ヲ
 「ゴンダック」ニ増援セシメ、カ更ニ「ルフロオ」ニ在ル平田支
 隊ト協議シ、該支隊ヨリ原田大尉ヲ指揮スル歩兵一中隊

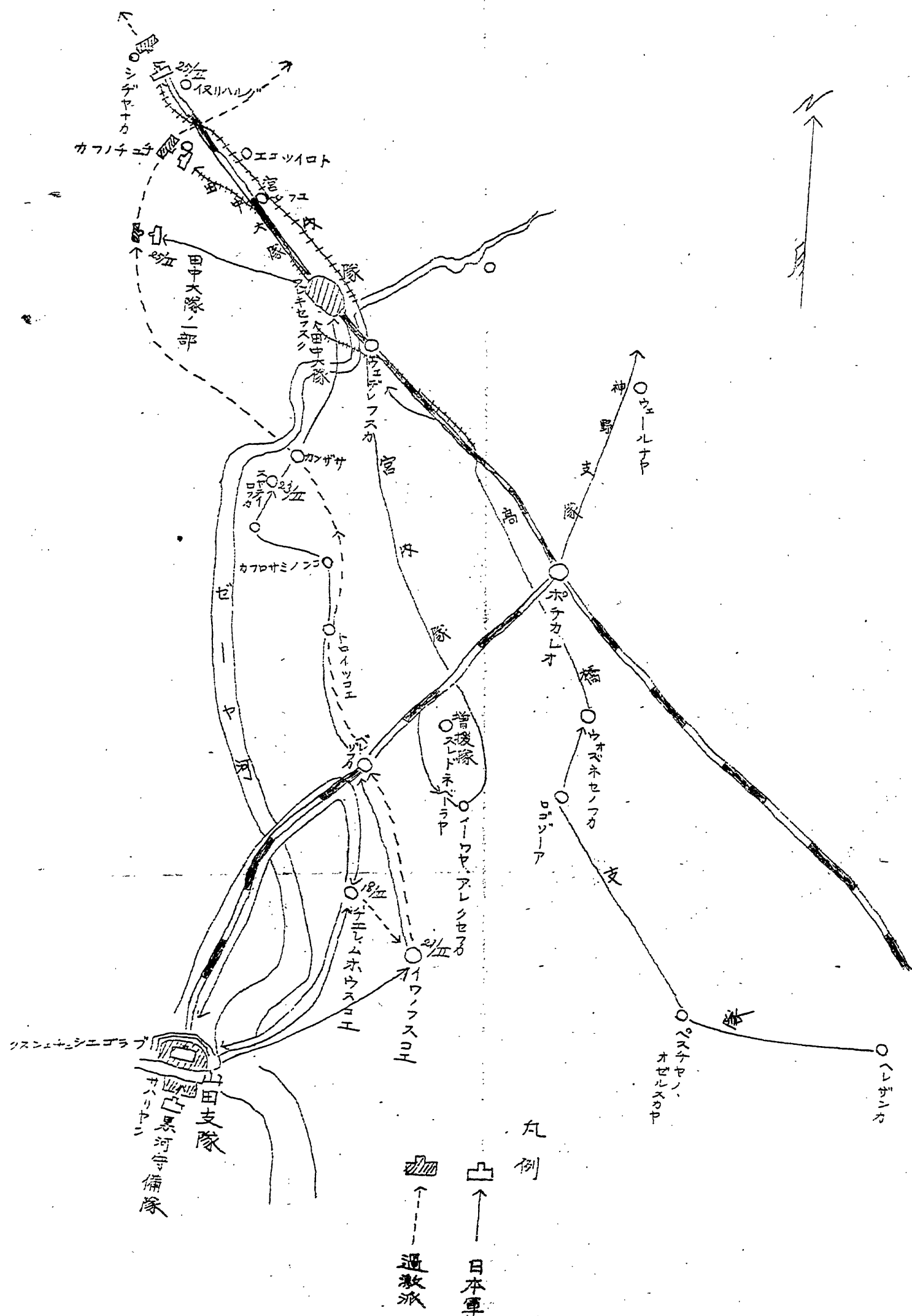
機關銃ニヲ「ゴンタツ」ニ急行セシム

二月二十六日ノ情況

田中大隊ノ將校乍候(長少尉香田驍雄以下約五十名)ハ二十五日夕「スクラム」ヲ「スエ」ニ突入シ四名ノ負傷者ノ外全部戦死シ同夜半出發セル大隊ノ主力ハ「チニダイノフカ」西南三吉米附近ニ於テ優勢ナル敵ト遭遇シ敵ノ包圍ニ陥リ多大ノ損害ヲ受ル是ヨリ先「ゴフタ」ニ在リシ野砲兵一中隊(長砲兵大尉西川達次郎)(歩兵一小隊ヲ附ス)ハ田中少佐ノ招致ニヨリ二十六日午後大隊ニ急追中午後一時三十分「チニダイノフカ」西南一里ノ高地ニ於テ敵ニ遭遇シ數時間激戦ノ後西川砲兵大尉佐々木砲兵少尉(來碩)及將校一名下士以下四十六戦死シ下士以下十員傷ス此日ノ戦闘ニ於ケル負傷下士以下十四ニシテ其他ノ田

0764

中少佐以下約二百四十ハ戦死ヲ遂ケタルモノノ如シ
敵ノ死傷數ハ明カナラサルモ我手ニ入レル死傷者ノミ
ニテモ約五百ニ達ス
「スクラムレフスコエ」附近ニ在リシ敵ノ主力ハ少クモ二千ヲ下ラ
サルモノノ如ク東北方ニ向ヒ退却セリ



0766

軍務局

供覽



如シ

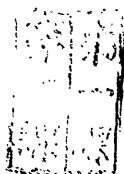
二月二十六日ユフタノ附近田中大隊戦闘後ノ情况別紙ノ

通報

參一發第七十一號

大正八年三月六日

參謀總長



小股



8. 3. 6
既届受領

0767

二月二十六日「ユフ夕」附近田中大隊戦闘後ノ情况

高橋少佐ノ指揮スル部隊（歩兵二中隊、機關銃二、特種砲二）ハ田中大隊苦戦ノ報ヲ得之ニ協力シ敵ノ背後ニ逼迫セシカ爲メ二十六日午後五時三十分「ユフ夕」北方約三里ニ達シ敵ト遭遇シ之ト對戰中夜ニ入り猶攻撃ヲ續行シテ之ヲ撃退シ二十七日「ウシユムシ」ヨリ來援セル原田中隊（歩兵一中隊、機關銃一、狙撃砲一）ト合シ爾後一部ノ増援ヲ得テ「アレキセー」カニ向ヒ追撃ス此戦闘ニ於テ我戦死卒一員傷下士卒五、凍傷ニラ出シ敵ノ遺棄セル死屍約百ニ達ス二十八日約千二、三百ノ敵ハ「ウエルナヤ」方面ニ退却セルモノ如ク又其約五百ハ「タルボゴタイ」附近ニ在ルコトヲ知リ山田少將ハ高橋大佐ヲシテ歩兵三中隊、砲四門、特種砲二ヲ指揮シ二日午前「ボチカレ」ト出發「タルボゴタイ」方向ノ敵ニ

0768

向ヒ前進セシメ更ニ平田支隊ノ一中隊及「ゼーヤ」河上流
地方ヲ搜索シテ歸還セル宮丹隊ノ大部ヲシテ高橋大佐
支隊ニ追及其指揮ニ入ラシム
高橋大佐支隊ハ二日午前「ボチカレ」東方約一里ニ達シ小
數ノ敵ヲ驅逐シ更ニ前進ヲ繼續ス此時石橋騎兵少尉(富
士雄)及卒一戰死ス
高橋少佐支隊ハ二日午前十時過「ウエルナヤ」ニ進入シタル
モ約二、三千ノ敵ハ昨日午後「プロロフカ」方面ニ退却シタ
ルヲ知り更ニ「プロロフカ」ニ向ヒ前進ス
三日午前十一時過高橋支隊ハ相協力シテ「パウロフスコエ」
ノ敵ヲ擊退シ同地ヲ占領ス高橋大佐ハ兩支隊ヲ指揮シ
此敵ヲ追撃中ナリ
敵ハ東方及東南方ニ向ヒ退却シタルモノノ如ク此戦闘

0769

敵ニ於テ我損害約九十ニシテ上原砲兵大尉(速視)戦死ス
ノ戰場ニ遺棄セル死屍約二百ニ達ス

0770

軍務局



[Handwritten signature]

參一發第七十二號

通報

「コフタ」及「パウロスコエ」附近戰鬥、詳報別紙、如シ



參謀總長

大正八年三月八日



8. 3. 11
實録

0771

「ユフタ」附近田中大隊戦闘ノ情況

田中歩兵少佐（勝輔）ノ指揮スル歩兵第七十二聯隊第三大隊（第九、第十二中隊欠）ハ山田支隊ニ増援スヘキ任務ヲ以テ二月二十二日午前十時「ハバロスク」發車二十四日午前二時「ホチカレオ」ニ到着スルヤ更ニ山田支隊長ヨリ「ユフタ」附近ニ前進シテ敵ノ背後ヲ攻撃スヘキ任務ヲ受ケ同日朝「ホチカレオ」出發途中「アレキセフスク」ニ森山中尉（俊秀）ノ率ユル一小隊ヲ残置シ同日夕「ユフタ」ニ到着ス二十五日朝午前八時田中少佐ハ香田少尉（驍雄）ノ率ユル歩兵一小隊ヲ「スクラムレフスヨエ」方向ニ派遣シ情況ヲ偵察セシム同小隊ハ午後四時頃「スクラムレフスヨエ」ニ達スルヤ敵兵五、六十同村端ヲ占領シアルヲ知り直チニ之ヲ攻撃セリ

0772

然ルニ敵ハ漸次兵力ヲ増加シ其數四百以上ニ達シ漸次
 西翼ヲ包圍セントスルノ形勢ヲ示シ死傷續出頭ル苦戦
 ノ情況ニ陥レリ然レトモ勇敢ナル小隊ハ同村ニ向ヒ突
 撃ヲ敢行シ敵ノ第一線ヲ突破シテ村外ニ進入セルモ優
 勢ナル敵ノ爲全ク重圍ニ陥リ奮戦格闘小隊長以下悉ク
 戦死シ辛クシテ負傷者四(内一ハ途中ニテ死ス)歸還セルノミ
 田中少佐ハ香田小隊ノ情況ヲ知り大隊ヲ率イテ「スクラ
 レフスコエ」ニ前進シテ敵ヲ攻撃スルニ決シニ十五日午後十
 一時出發午前八時頃「チユダイノカ」西方約一里ノ森林内ニ於
 テ俄然敵ニ遭遇セリ大隊長ハ直ニ此敵ヲ攻撃スルニ決
 シ行軍縱隊ヨリ展開シ一部ヲ以テ西方高地ヲ占領セシ
 メ猛烈ニ攻撃ヲ開始シタルニ敵ノ大縱隊ハ西方高地及
 東方凹地ヲ經テ迂回シ大隊ハ全ク敵ヨリ包圍セララル

0773

一五リ死傷續出頗ル不利ノ形勢ニ陥リシモ苦戰奮闘盡
 霞ノ如キ大軍中ニ突入自兵ヲ奮テ格闘シタルモ疲窮敵
 セス全大隊悉ク戦死シ大ニ敵ノ心膽ヲ寒カラシメ日本
 軍隊ノ本領ヲ發揮セリ
 同日「アレキセラス」ニ在リシ西川大尉ハ野砲兵第十二聯隊第
 五中隊(一小隊欠)及歩兵第七十二聯隊第十一中隊ノ一小隊
 ヲ指揮シ田中大隊ヲ増援スルニ任務ヲ受ケ午前九時ア
 レキセラス」出發途中山田少將ヨリ前進スルニ命令ニ接セ
 シモ折極露國哥薩克隊ヨリ田中大隊激戦ノ情况ヲ知リ獨
 斷之ヲ救授ヲナスニ決シ前進中俄然優勢ナル敵ニ遭遇
 ス茲ニ於テ西川大尉ハ高地上ニ砲列ヲ布キテ砲撃ヲ開
 始シ歩兵小隊ヲシテ猛烈ニ敵ヲ攻撃セシム然ルニ敵ハ
 益々兵力ヲ増加シテ漸次我両翼ニ迂回シ全ク包圍ニ陥リ

死傷續出シシルモ敢然攻撃ヲ續行シ砲兵ハ最後ノ一兵
 至ル迄砲撃ヲ續シ步兵小隊ハ小隊長森山中尉(俊秀)
 率先敵陣地ニ突撃シ奮戦格闘シ悉ク戦死シ生存スル僅
 五名ノミ
 本戦闘ニ參與セル敵ノ兵力ニ乃至三千ト稱ス彼我ノ死
 傷左ノ如シ

我軍

員傷 九

戦死 将校 一一

歩兵少佐 田中勝輔
 歩兵大尉 松原浩
 歩兵中尉 林信一
 歩兵中尉 松島宿禰
 歩兵中尉 森山俊秀
 一等軍醫 竹本源一

歩兵少尉 永野正盛
 歩兵少尉 香田曉雄
 砲兵大尉 西川達次郎
 砲兵少尉 佐木來碩
 外務曹長 一

下士以下 二九〇
 通譯 二

敵軍

詳カナラサルモ戦場ニ遺棄セリ死体ノミニテモ約
 四百ニ達ス

「パウロフスコエ」附近山田支隊戦鬪、情況
 高橋歩兵大佐ハ「タルボゴタ」附近ノ過激派ヲ討伐スヘキ任
 務ヲ以テ三月二日「ボチカレ」發途中小數ノ敵ヲ驅逐シ二
 日「パウロフスコエ」西北約三吉米無名村落ニ達シ三日午前同地
 發午前六時三十分「パウロフスコエ」附近ヲ占領シ在ル敵ヲ攻撃
 ス然ルニ我第一線敵前四五吉米ニ接近スルヤ敵ハ其兵
 カヲ兩翼ニ延伸シ攻勢ニ轉シ來ルヲ以テ我ハ猛烈ナ
 ル砲兵及機關銃火ニ依リ之ヲ阻止シタルモ一時敵ノ包
 圍攻撃ヲ受ケ苦戰ニ陥リシカ午前十時「プロツカ」方向
 ヨリ前進シタル高橋少佐ノ指揮スル部隊ノ左側ヨリ我
 攻撃ニ參與スルアリ同三十分兩隊相呼應シテ敵陣地ニ
 突撃シ格鬪ノ後其機關銃一ヲ奪ヒ敵ヲ潰乱セシム
 敵ノ兵力千五百ヲ下ラス潰乱シテ其大部ハ「タルボゴタ」方

0776

向ニ、一部ハ「ホセエフカ」方向ニ退却セリ
此戦闘ニ於ケル彼我ノ死傷左ノ如シ

我軍

戦死 將校 三

砲兵大尉 上原 速視
豫備歩兵中尉 吉廣 廣喜
歩兵准尉 中島 政喜

下士以下 三九

負傷 將校 三

歩兵大尉 富山 政之丞
全 宮原 正雄
砲兵准尉 田中 周平

下士以下 八〇

敵軍

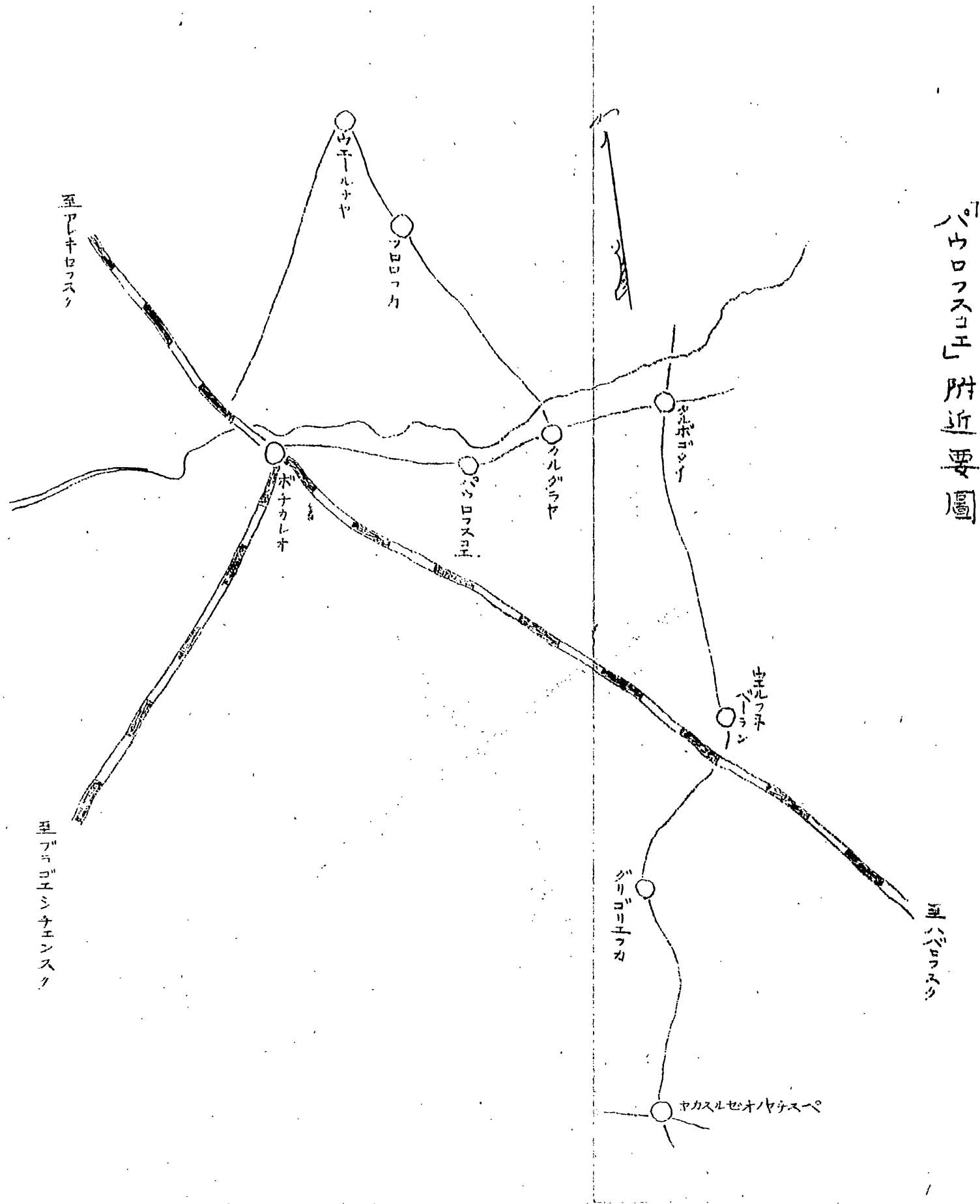
損害約五百ヲ下ラス 戦場ニ遺棄セル死屍少

クモ二百五十ヲ下ラス

山田少將ハ敵ヲ急追シテ主力ヲ以テ五日午後六時「パスチ

ヤシ、オセルスカ」ニ達ス

0777



0778

參一發第七十三號

大正八年三月八日

參謀總長

通報

曩ニ内地ニ歸還ヲ命セラレタル第二航空隊ノ歸還輸送ハ現下
黒龍州ニ於ケル情況ニ替ハ一時之ヲ延期セリ



0779

參一發第七十四號

大正八年三月十八日

參謀總長

山田支隊過激派討伐ノ件

三月三日「パウロカ」附近ニ於テ敵ヲ擊退シタル山田支隊ハ敗殘ノ敵ヲ急追シテ之

ヲ殲滅セントシ「パスナヤノオーゼルスカヤ」「ライチイハ」「キウダ」交戦ノ經テ十一日「ブレンヤ」ニ達ス

敵ハ十日「キウダ」「炭鑛」ヲ經テ鐵道線路以北ニ移リ途中所々鐵道橋ヲ破壞シツツ

十三日「エカテリノスラフカ」ニ達シ更ニ一部ヲ以テ「パスナヤノオーゼルスカヤ」方向ニ、主力ヲ以テ

北方ニ向ヒ退却ス

軍務局

山田支隊長ハ曩ニ支隊ニ増援セラレタル田所隊(田所歩兵大佐(成恭)ノ指揮

スル歩兵第七十二聯隊ノ二大隊及砲兵一中隊ヲ基幹トス)岡田隊(岡田歩兵大佐

(誠道)ノ指揮スル歩兵第五十一聯隊ノ二大隊及砲兵一中隊ヲ基幹トス)並新ニ

「ローヤ」ニ於テ編成セル坂井支隊(坂井砲兵大佐(武比古)ノ指揮スル歩兵四中隊、砲

兵一中隊ヲ基幹トス)等ノ諸隊ヲ以テ極力追撃ヲ敢行スルニ決シ高橋支隊ハ

原守備地ニ歸還スルニ、岡田、田所兩隊ハ一ハ鐵道線路北方地區ヨリ一ハ鐵道ニ依

敵ヲ急追シ共ニ十四日「エカテリノスラフカ」ニ達シ更ニ「ボチカレオ」方向ニ前進ス
又新ニ山田支隊長ノ指揮下ニ入レル第二航空隊ハ「ザウー」タヤニ於テ十三日ヨリ飛
行ヲ開始シ十四日「エカテリノスラフカ」―「ヘスチヤハオーセルスカヤ」道上ニ於テ退却中ノ
敵ノ縦隊ヲ發見シ爆彈攻撃ヲ以テ之ヲ散亂セシム
「ボチカレオ」守備隊ハ十五日午前砲二門ヲ有スル約六百ヤ敵ノ攻撃ヲ受テ
「アラゴエシヤンスタ」守備隊一部ノ増援ヲ得同日夕之ヲ撃退シタルモ敵ハ猶近ク
我陣地前ニ在ルヲ以テ守備隊ハ戦闘準備ノ儘夜ヲ徹レ山田支隊長ノ來著ヲ待テ
「ツアリレガ夜」テ岡田隊「ボチカレオ」ニ到着シ田所隊モ亦近き前進中ニシテ山田支
隊長ハ坂井支隊長及豫備隊ト共ニ十六日「エカテリノスラフカ」ニ達シ更ニ「ボチカレオ」向ヒ前
進中ナリ